

ク ロ ー バ ー

Clover

Vol.3

2006年5月発行

編集・発行
君津中央病院
☎ 0438 (36) 1071

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し、地域の皆さまに親しまれ、信頼される病院をめざします。



基本方針

- 1、接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2、高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3、包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4、救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5、職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6、病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

「組合」から「企業団」に変わります

当院は、昭和39年に君津郡中央病院組合に改められ、以来、木更津市、君津市、富津市と袖ヶ浦市の4市を構成市とした一部事務組合として管理、運営されてきました。この間、昭和43年には、現在の地に移転し、平成15年7月には651床の現病院が開院しました。千葉県南部における地域中核病院として重要な役割を担っています。

この4月からは病院事業の経営に関わる権限と責任を明確にするため、従来の4市長に代わって、専任の経営責任者（企業長）を配置し、病院を運営する主体も「君津中央病院企業団」としました。

詳しくは、事務局総務課に問い合わせください。

Yoshio Fukuyama

企業長挨拶 福山 悦男



平成18年4月より、当病院の経営形態が変わり、一言で言えば地方公営企業法の一部適用から全部適用となり、病院の開設者の名称も君津中央病院企業団となりました。今回経営母体であります構成4市の市長より企業長のご指名をいただきその責任の重大さを痛感しております。厳しい医療環境の中で、更には自治体の財政状態の厳しい中において以前にも増して病院経営の難しさを実感しておりますが、いずれにしても最善の努力をする決意をしております。当然のことながら、私自身初めての経験でそのような才能が充分あるとも考えておりませんが、地域の中核病院としての使命を全うせねばならないことには変わりありませんし、

地域の皆様に安全で質の高い医療の提供のために、無駄のない効率的な運営を目指し、職員一丸となり、更に病院の状況を充分理解し合って、健全な病院経営が職員一人ひとりの生活と一体化することであろうと考えております。更に端的に言えば、より一層の自立の気持ちでの病院経営と云えます。

平成18年度の診療報酬が3.16%の過去最大のマイナス改正といわれ、今後の病院経営の見通しの悪さを予知させますが、私自身昭和45年より当院でお世話になり、大変口幅ったいですが、病院に対する愛情もあり、新しい病院の経営形態の中で過去の経験から出来る限りのお手伝いが出来ればと考えております。しかし一方世間に目を向けますと、毎日の様に新聞、テレビで報道されております医師不足、看護師不足などの医療環境は根本的に財政面との対比において需給関係の上で大変矛盾を感じ、早急な解決が必要であろうと考えます。この事は医療機関の現場における労働条件の悪さを視野に入れて検討せねばならないとも考えます。新しい組織によって運営される病院は、これまで以上に柔軟な発想や行動力を持って、職員が一丸となって病院運営に取り組んでまいります。

katsumi Isobe

病院長挨拶 磯部 勝見



平成18年4月1日をもって、君津中央病院長を拝命いたしました。

私達の病院の管理運営は今年度より企業長という事業管理者の名のもとに、地方公営企業法の全部適用を受け、君津中央病院企業団と名称が変わり、新しくスタート致しました。

改めて申し上げる事ではないのですが、今、医療を取巻く環境は少子高齢化や、長期に亘る低経済成長の影響を受けますます厳しさが増えています。

「医療費の総額抑制ありき」という政策の基で、診療報酬改定が行われ医療制度の改革が行われようとしています。医師の過疎化など医療従事者の確保の問題もあります。さらに構成市

の苦しい財政状態は、より効率的な病院経営を強く求めています。

私達は、この様な「うねり」の中で、医療の原点は何か、地域の自治体病院の使命は何かという事をもう一度認識し、確認しておきたいと思っております。

いかにすれば患者さまに納得してもらい、満足の出来る良質で安全な医療を提供出来るかを常に心掛け、地域の基幹病院として、地域、住民の健康、福祉への貢献を使命とする事を第一と考えます。そしてその使命を遂行し達成するために、人員、設備、待遇などを含めた医療現場の環境を整備、充実させ、無駄を省いたより健全で効率的な病院経営を遂行していかなければなりません。

さらには諸先輩達が築かれた地域の自治体病院の機能を充実、発展させるためには、地域の医療福祉関係機関との相互理解と緊密な連携が益々重要となってきます。

その責任の重さに身の引き締まる思いで一杯ですが、職員一丸となって努力する所存であります。

君津中央病院 災害派遣医療チーム DMAT

disaster medical assistance team



1995年の阪神淡路大震災は様々な教訓を私たち救急を専門とする医療人に残しました。震災当時、組織的な初期医療体制は立ち遅れ、意識清明であった被災者が救出とともに急変し、心停止を来したクラッシュシンドロームの例やヘリコプターによる搬送を有効に活用できず、被災地内での適切な初期治療も受けられぬまま命を落とした例等、いわゆるpreventable trauma death (避けられた死)がみとめられました。従来、医療救護班は避難所の仮設診療所や巡回診療を担当してきましたが、大災害時には従来の医療救護班だけでは救命の観点からみた災害医療として充分ではありません。急性期に可及的早期に救出・救助部門と合同し、トレーニングを受けた医療救護班が災害現場に出向くことが、予防できる被災者の死の回避につながります。以上のことが6年の歳月をかけ、2001年に“日本における災害派遣医療チーム (DMAT) の標準化に関する研究”の報告書にまとめられ、これを受けて2004年に第1回の日本DMAT隊員養成研修がはじまりました。

千葉DMAT

すでに、千葉県においてこのような日本DMAT隊員養成研修を終えた病院チームは宮城県沖地震に派遣された日本医科大学千葉北総病院をはじめ、千葉県救急医療センター、千葉県循環器病センターがあり、私たち君津中央病院チームも今年、1月に災害医療センターで、3日間の講義、訓練を受けました。DMATの任務は被災地域内でのトリアージ、応急治療、搬送や現場における救急隊のとりまとめだけでなく、被災地域内での医療情報収集と伝達、医療機関、特に災害拠点病院の支援強化、広域搬送拠点医療施設 (Staging Care Unit) における医療支援、広域航空搬送におけるヘリコプターや航空機への搭乗医療チームとしての活動等、多岐にわたります。今後、近隣あるいは遠隔地でも被災地周辺のDMATだけでは対応しきれず、要請があった場合には千葉DMATの一員として救援に向かうこととなります。

八都県市防災訓練

第26回八都県市合同防災訓練千葉県会場訓練会場外訓練
木更津駅構内における鉄道被災想定訓練
震度6弱による内房線列車脱線事故に対する警察、消防、
千葉DMATによる共同訓練 2005.9/4



君津中央病院 災害派遣医療チーム



八都県市防災訓練 (県庁 消防地震防災課提供)

診療科紹介

～君津中央病院消化器科～



診療科概要

君津中央病院消化器科は、地域の消化器疾患診療の基幹診療病院としての自負をもって主に消化器救急診療とがん診療に携わるとともに、消化器内科医を目指す人材の育成にも力を注いでいます。がん診療に関しては、当院が地域がん診療拠点病院に指定されていることもあり、消化器癌の診断・治療に於いて高いレベルの医療を提供できるように心がけています。若手医師の人材育成に関しては、日本消化器病学会・日本肝臓学会・日本消化器内視鏡学会の指導施設の指定も受けています。現在消化器科の診療にあたっている常勤医は9名で、その他若干名当科に研修にきている医師も診療に携わっています。

診療内容

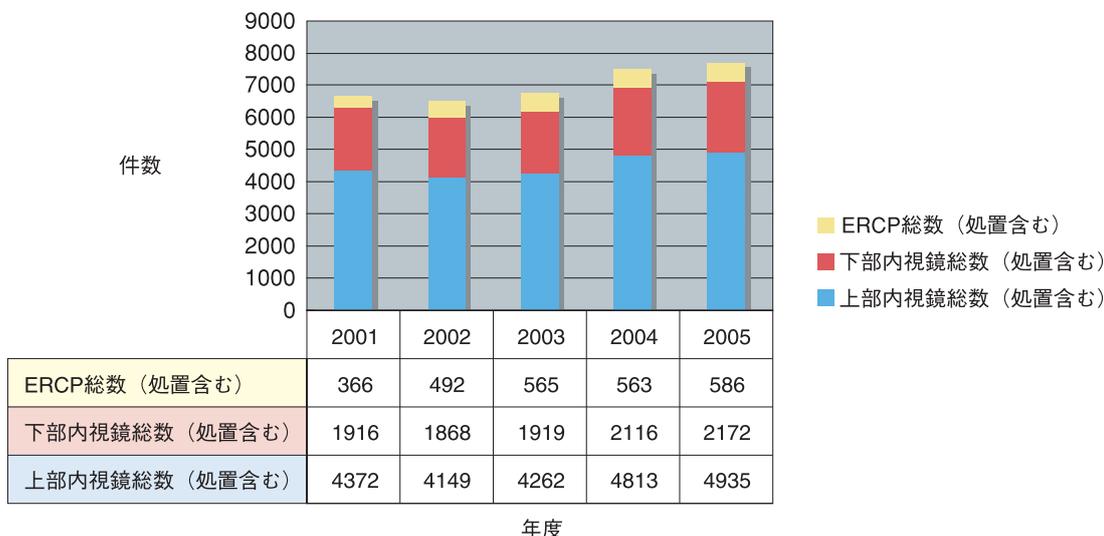
消化器疾患の救急医療からがん診療まで幅広く診療にあたっています。救急医療で診療機会の多い疾患は消化管出血・胆道感染症・腸閉塞です。がん診療に関しては肝癌・胃癌・大腸癌の診療機会が多く、放射線科との連携で食道癌の化学放射線療法も行っています。肝癌においては、エタノール注入療法やラジオ波焼灼療法その他カテーテル治療も当科で担います。消化管粘膜内癌の内視鏡治療、進行消化器癌化学療法などにも関わっています。

一般診療の中では慢性肝疾患や胆膵疾患の診療頻度が高く、内視鏡検査や治療も数多くこなしています。最近の診療実績は別表の通りで、地域における診療拠点としてのウエイトはますます高くなってきていると考えています。

若手医師教育

地域の基幹病院であり、若手医師の人材育成を積極的に行ってゆく必要があります。日本消化器病学会・日本肝臓学会・日本消化器内視鏡学会の指導施設であり、私達自らが多くの経験を積んだよい消化器内科医を育てられるように後期研修医制度の整備を行っています。

消化器科内視鏡総数



看護局 だより



看護局職場紹介

9西病棟（消化器内科）



病棟カンファレンス



9西病棟スタッフ

こんにちは。当病棟は消化器科（食道・胃・肝臓・胆嚢・膵臓・大腸などに関連する）病棟です。治療によっては長期入院が必要な場合もありますが、患者さまが安心して検査や治療を受けていただけるように十分なインフォームドコンセントを行なっています。安全で質の高い、心のこもった看護サービスを提供するために、病棟スタッフは忙しい中でも常に笑顔を忘れずに協力しながら頑張っています。医師、看護師のほか薬剤師、栄養士、理学療法士とも連携しチーム医療を行っています。糖尿病、高血圧などの生活習慣病や肝障害、胆石症、膵炎の患者さまが多く、特に食事に関しては退院後も安心して生活できるよう、栄養士による食事指導を積極的に行っています。

そこで、一例ですが当院臨床栄養科より、肝障害の方の低蛋白食をご紹介します。



栄養士による栄養相談

「低たんぱく」でも、
* * *
あかずはリッチに！



低タンパク食
献立一例

- * 鶏肉の野菜巻き
- * 辛し和え
- * そぎ大根煮
- * わかめスープ
- * デザート・フルーツ

鶏肉の野菜巻き

鶏肉で、ごぼう、人参、いんげんを巻き調味料でからめ、油で表面全体を蒸し焼きにします。少ないタンパク質でも、野菜を巻いてボリューム豊かになるように工夫しています。



* 医療福祉相談室 *

こんにちは。医療福祉相談室です。

病気をすると、健康な時には考えられなかったような心配事が生じてきます。医療相談室では、患者さまやご家族さまが安心して治療、療養していただけるよう、そのような心配事に対して、専門の相談員である医療ソーシャルワーカーが、社会福祉の立場からご相談をお受けしています。

たとえば
こんな時…

- ・ 退院後の生活や社会復帰に不安がある。
- ・ 医療費、生活費など、経済的な心配がある。
- ・ 各種社会保障、社会福祉制度の利用について知りたい。
(介護保険、年金保険、生活保護、各種施設の利用など…)

ご相談の際には、相談に十分な時間が取れますよう、ご予約いただくことをお勧めします。スタッフ一同、皆様のお力になれるよう、努めておりますのでお気軽にお訪ねください。



場 所 2階 医療福祉相談室
受付時間 月～金曜日（祝日除く）
9時～17時
連絡先 0438-36-1071(代表)

● 薬局 ●

4月より副院長兼看護学校長である鈴木紀彰医師が薬局長を兼任することとなり新体制がスタートしました。

薬局内の薬剤師数は19名で約2000種類の薬剤を取り扱っております。薬学教育は今年度から6年制となり、医療人として資質の高い薬剤師が求められており、より一層の自己研鑽とレベルアップが求められております。私たち薬剤師は皆様に薬剤を有効かつ安全に安心して使用していただけるようさらに努めてまいります。薬局一同、病院として少しでも皆様に満足していただけるよう日々努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。



各室の紹介



調剤室



一部外来患者さまと入院患者さまの薬を調剤しています。処方箋から発生する多種多様な問題点を最新のエビデンスから考えて処方箋鑑査、疑義照会の実践に日々努力しております。

薬品管理室



医薬品管理は病院における医薬品流通機構にしたがって購入管理から始まり在庫管理、供給管理、消費管理へと続きこれらの全過程を通じて品質・安全管理を行っています。



製剤室



各種製剤用の機器を設置し、市販されていない軟膏や点眼液などの調製、食事などから栄養摂取が不可能あるいは不十分な患者様に用いられる高カロリー輸液を無菌室（クリーンルーム）で調製、外来で化学療法を行う患者さまの抗がん剤を安全キャビネット内で調製しています。

薬剤管理指導室



病棟の担当者は各階1名ずつの6名が担当しており、薬剤管理指導業務を行っています。業務内容は医師から依頼のあった入院患者さまに薬の内容の説明や医師の指示通りに薬を服用できているか？副作用がないか？別の症状でつらい思いをしていないか？などを確認し、気がついたことを医師、看護師に連絡しています。また、病棟で使用している薬の管理をしています。

薬品情報室



医薬品情報室では、患者さまが病院から交付された薬を有効にかつ安全に使用して頂く為、薬に関する情報を収集、整理して、的確に情報提供を行う事を目的として仕事をしています。また薬局で購入できる大衆薬や食品に含まれるビタミンやミネラル、その他の薬品も含めた薬に関する問い合わせに対して、患者さまへさらに医師、看護師やその他の医療従事者へ分かりやすく説明できるように資料の作成を行っています。

調剤科長兼製剤科長 天明秀夫



おくすい豆事典

? 薬とお茶の飲み合わせってどうなの？

「この薬、お茶で飲んで大丈夫かな？」と思ったことはありませんか？

よく、鉄剤はお茶で飲んではいけなと言われてますがそれはお茶に含まれているタンニンという成分が鉄と結合することにより吸収が阻害されるためです。

しかし、お茶と水で試験した結果、効果にあまり差がないことがわかりました。

ですから最近では濃いお茶（抹茶、玉露など）でなければ、飲んで大丈夫と言われてます。

外来診療医師担当表

平成18年4月1日

科名 / 曜日	月	火	水	木	金		
内科	総合診療 三浦 PM総合診療 三浦	総合診療 比嘉 PM総合診療 比嘉	総合診療 三浦 PM総合診療 三浦	総合診療 比嘉 PM総合診療 比嘉	総合診療 比嘉 三浦		
	消化器 畦元 消化器 駒	消化器 吉田 消化器 院去	消化器 畦元 消化器 藤本竜	消化器 佐藤 消化器 太和田	消化器 藤森 消化器 大部		
	循環器 氷見 循環器 山本・藤本 交替制 PM循環器 氷見・田中	循環器 山本 循環器 氷見 PM循環器 山本 PM循環器 芳生	循環器 藤本善 循環器 氷見 PM循環器 藤本善 PM循環器 関根	循環器 松戸 循環器 藤本 PM循環器 松戸 PM循環器 藤本善	循環器 松戸 循環器 山本 PM循環器 氷見 PM循環器 森野		
	神経内科 八木下 牧野	神経内科 八木下 澁谷	神経内科 澁谷 牧野	神経内科 牧野 交替制	神経内科 八木下 澁谷		
	内分泌 内田 PM内分泌 内田	内分泌 中村 PM内分泌 中村	内分泌 内田	内分泌 内田 PM内分泌 内田	内分泌 中村 PM内分泌 中村		
	呼吸器 須田 石崎	呼吸器 篠崎 重城	呼吸器 篠崎 重城	呼吸器 篠崎 石崎	呼吸器 篠崎		
	血液・腫瘍内科		AM 休診 PM 後藤		AM 休診 PM 後藤	五月女	
	精神科	遠藤・林	遠藤・林	林	遠藤・林	高瀬・林	
緩和医療科		鈴木		鈴木			
女性外来		PM 鈴木		PM 鈴木			
新生児科	乳児検診 (大曾根) (第3週のみ)	第1, 3, 5 小林 第2, 4 大曾根	乳児検診 (当番制)	大曾根	大曾根		
小児科	午前	田島・諏訪部・多田・内田	多田・中野・榎本	森・諏訪部・内田	田島・諏訪部・榎本	田島・多田・中野	
	午後		循環器外来	神経外来	神経外来	内分泌 第1・第3 血液 第2・第4	
小児外科	山田	照井	(特殊外来日) 交替制	山田	照井		
外科	午前	柳沢・竹内	竹内・岡本	海保・土屋・外川	海保・外川	土屋・柳沢・岡本	
	午後	柳沢	竹内	乳腺外来 土屋・外川(午前・午後)		土屋・岡本	
呼吸器外科	柴・柿沢	佐藤 (一般・禁煙)	柴	柴	柴・飯田		
整形外科	紹介予約 毎週	金山	須藤	田中	大塚		
	午前	1・3・5週	蓮江	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	金山	林
		2・4週	須藤	田中	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	大塚	林
	午後 毎日	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	蓮江・岩倉・竹下(交替制)	
脳神経外科	岡・磯部	須田・興村	須田・興村	磯部・興村	岡・交替制		
心血管外科	山口	須藤	手術日	AM須藤 PM石田(予約のみ)	浮田		
形成外科	重原・姫田(予約のみ)	重原 (新患・再来)	手術日	重原 (新患・再来)	重原・姫田(予約のみ)		
皮膚科	大学医師		大学医師	大学医師	内分泌フットケア外来		
泌尿器科	永嵩 茂田	(特殊外来日) 渡部・茂田	永嵩 渡部	永嵩 佐々木	渡部 茂田		
産婦人科	新患	神山	木村	池田	江口	神山 (第1・3・5) 木村 (第2・4)	
	再来	池田	江口	木村	神山	神山 (第2・4) 木村 (第1・3・5)	
眼科	新患	熊谷	平松	大学医師	馬場	浅海	
	再来	浅海・平松	馬場・熊谷	馬場・平松・熊谷	浅海・平松	馬場・熊谷	
耳鼻咽喉科	上久保 浅野 大学医師	高橋 浅野	(手術日) 新患のみ受付 大学医師	高橋 上久保	大学医師		
歯科	金沢・渡邊・神津	金沢・渡邊・神津	金沢・渡邊・神津	金沢・渡邊・神津	金沢・渡邊・神津		
麻酔科	野村 (予約のみ)	野村	野村 (予約のみ)	野村	野村 (予約のみ)		
放射線科	治療	清水	清水	清水	清水	清水	
	R I	平田	平田	平田	平田	平田	
外来ドック	高橋・山口	山口	高橋・山口	高橋	高橋・山口		



大佐和分院・救急室等の増築を終えて



大佐和分院院長 桐谷好直

平成17年度の事業計画のひとつであった救急室・人間ドック管理室・訪問看護室等の増築工事が、この3月末日に無事竣工の運びとなりました。このたびの整備事業を4市民の健康保持・増進のため十二分に活用させていただく所存でございます。また地域包括医療の充実・発展のためにも大いに寄与するものと確信しております。財政事業の厳しい折、ご理解いただいた4行政機関ならびにご支援・ご協力を賜りました関係各位の皆様方に職員一同深く感謝申し上げます次第でございます。

尚、人間ドックの開設日は7～8月頃を予定しております。



救急棟入口



救急室



人間ドック待合室

1～2月の寒い時期での工事。すきま風の吹く中、不満ひとつ洩らさずに通院してくださった患者さまに感謝申し上げます。

大佐和分院 外来診療日・診察担当医師名

(平成18年4月1日)

●受付時間 午前 8:00～11:30 午後 12:00～15:00 ●診療開始時間 午前 9:00～ 午後 13:30～(眼科のみ14:00～) □予約制

	月		火		水		木		金		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科・小児科	桐谷 北湯口		桐谷 北湯口		桐谷 庄司	北湯口	桐谷 北湯口	庄司	桐谷 庄司		
循環器科		交代制									毎週月曜 超音波検査のみ
神経内科									牧野		再来のみ予約
女性外来		鈴木									
外科							朱				
整形外科	小田部				保住				小島		
皮膚科			祓川								第2・4火曜のみ
泌尿器科									永嵐		
眼科	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	茂田	休診	茂田	茂田	

※赤字 4月1日から変更

編集後記

窓から見える青葉が目にしみる季節になりました。4年目を迎える病院の周りの植樹も大地に根付き新緑を競っています。

病院は新年度から、新体制となりました。今号では、その紹介をさせていただきました。当誌も3号を数えましたが『売り家と唐様で書く三代目』とならないよう、充実した紙面を作るために皆様の要望をお寄せください。(Y.O)